

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (40)



～ 旅立ち 夢翼で大空へ！ ～

石垣市立八島小学校 校長 仲地 秀将

本校は、市街地の東に位置し、視界は大きく太平洋へと広がっています。校歌には、『夢翼』という言葉がありますが、己の翼を鍛え、己の翼で世界へ飛び立ち、世界で活躍できる人材に成長してほしいという願いが込められています。その実現のためには、夢をもち、日々コツコツと努力を積み重ね、一步そして二歩と確実に前に向かって進んでいく、どんな困難にも強くたくましく立ち向かい、夢を描き、夢を叶える子どもたちを育成することから校訓を「日々前進」と定めています。

さて、石垣市教育委員会が「勇気づけの教育」を推進し、早二年が過ぎました。最初耳にしたときは、「はっしゃみよ、できるかな～」と思いましたが、一つ一つの行事や授業等を振り返って見ると、どこの学校でも取り組んでいることでした。それを、教師が今まで以上に「自己肯定感や自尊感情」を育てることを意識した取組を具現化し強化していけば、更なる学校改革、誰もが行きたくなる学校に変わることを確信しました。そこで本校での取組を紹介します。

一. 『むりかぶしタイムの取組』

朝の時間を活用して、年間を通して各学年毎にテーマ、文字数等を指定し作文に取り組む。誤字脱字を添削し、漢字力、語彙力、文章力の育成、そして何より大切に力を入れているのが全児童へ必ず承認するコメントを入れることです。褒めることにより「勇気づけの教育」の視点から「書く力」の育成に繋げることです。

二. 『諸行事・活動等での取組』

学校では、日々の授業以外にも体育発表会、校内持久走記録大会や各種委員会活動等、たくさんの行事や活動があります。取り組んだ過程の中で、できた事、粘り強く取り組んだ、分かろうと努力した等、褒める材料はいっぱいあります。本校では、しっかりと子どもたちの頑張りを見逃さず、具体的な『言葉』で勇気づけを行っています。そこに至ったプロセスや努力を褒めることにより、子どもの『やる気』を引き出すからです。

本校には、学校行事の中でも誇り高き「ハーリー体験学習」があります。みんなで力を合わせて協力することの大切さや地域の伝統行事について関心を持たせ、地域への愛着や誇りを持つこと等がねらいです。コロナ渦においても、地域の海人からは「学校がやると言ったらいつでもやるさ、だけど12月ぐらいの転覆ハーリーは、でーじひーさんから、だめど」と、現実味のある温かいお言葉をいただきました。心の中では「このオジーたちの熱い想いは真冬でもやりそうだなあ、子供たちが風邪をひいてしまわんかなあ」と思いましたが、お陰様で今年は11月に実施することができました。前日の準備から終了後の片付けまで、児童や職員はもちろん、誰が保護者で、誰が海人なのかはよく分からず、地域が一体となった体験学習は子どもたちを大きく成長させました。元校長の吉濱剛先生がおっしゃっていた「地域の文化こそ世界に誇れる」を、改めて実感しました。

三. 『授業や学級経営での取組』

子どもたちは学校生活の大半を授業で過ごします。教師は一時間一時間の授業を大切にし、しっかりと教材研究をした上で授業に臨まなければなりません。新学習指導要領では「子どもたちが主体的・対話的

で深い学びを創る授業」を打ち出し、どこの学校でも授業改善に取り組んでいます。本校では、「何を学んだか」ではなく「何をどのように学んだか」という視点からの授業改善に取り組んでいます。そのプロセスの中で仲間との協議を通して、相手の話を聞く力、自分の考えを整理し説明できる力、人間性を発揮させながら最終的には価値の共有はできたか、教師は子どもたちのアウトプットを最大限に引き出し、子どもたちの多様な意見（考え）を繋ぎながら学びを深め、学びに向かう力を育成しています。支持的風土をつくる学級経営では、勇気づけ教育を推進し「安心」「所属」「承認」「自立」の四つのポイントを意識しながら学級づくりを行っています。「学級旗づくり」「いいところ見つけ」「リフレーミング」、「今日の MVP」等、学級の実態に応じた取り組みから子どもたちの居場所をつくることで自己肯定感の向上を図っています。

旅立ちの春、卒業生の皆さん『光陰矢の如し』、月日が経つのは早いもので、人は誰でも『一日二十四時間という限られた同じ時間』で人生を歩んでいきます。皆さんが本校へ入学してから、あっという間に六年の歳月が流れ、いよいよ旅立ちです。友達、先生方と過ごしたこの学び舎、楽しかったこと、辛かったことなど、色々なことを経験し、心身共に成長した皆さんは今、どんな気持ちでしょうか。寂しさを胸に秘め、私たちは皆さんと素敵なお別れをしなければなりません。皆さんには、輝かしい未来が待っているからです。旅立つ皆さんに、波瀾万丈の人生の中で夢を叶えた史上最強のエンターテイナーと言われる『サニーデビス Jr』の名言を送ります。『チャンピオンじゃなくなる瞬間、それはノックダウンされた時ではなく、ダウンしてから立ち上がれなくなった時だ』。

八島っ子の皆さん、失敗しても、失敗しても、何度でも立ち上がり、将来の夢を叶えてほしいと思います。諦めない限り夢は続きます。夢翼で大空へ羽ばたけ！

青空がどこまでも続くように、私たちと皆さんの心はいつまでもつながっています。

